

松山市DX推進戦略(案)概要【計画期間】令和8(2026)年度～令和10(2028)年度

1. 策定の背景

急速な技術革新や人口減少・少子高齢化、ライフスタイルの変化等に対応し、持続可能な行政運営を行うため、デジタルの力を活用して既存業務を抜本的に見直し、人にしかできない創造的な業務に注力するため、松山市DX推進戦略を策定し、計画的に取り組みます。

2. 基本方針(Vision・Mission・Value)

【Vision】実現したいまちの姿

「デジタルの力で「幸せ」が実現するまちへ」

ひと・まち・仕事を有機的につなぎ、誰もが幸せを実感できる未来を目指します。

【Mission】私たちが取り組むべきこと

1. 市民・地域のDX
2. 産業のDX
3. 行政のDX

「市民・地域」「産業」「行政」の3つの領域で施策を展開します。

【Value】共有する価値観(DXマインド四か条)

DXを推進するために、職員全員が共有すべき行動指針

1. 「あたりまえ」を変えていこう～変革～
2. 「もし自分がユーザーなら」を合言葉に～ユーザー目線～
3. データを最強の相棒にしよう～データ重視～
4. 安全・安心を全員で守る～情報セキュリティ～

3. 取組内容(Mission:3つのDX)

① 市民・地域のDX

～住み続けたいまち、選ばれるまちへ～

- ・市民ファーストの行政手続きの推進
- ・デジタルで支える自分らしい暮らし
- ・デジタルで作る安全・安心なまち
- ・ライフステージに応じたDXの推進

② 産業のDX

～地域産業の競争力強化と持続的発展～

- ・DXで市内企業等の競争力を強化
- ・ストレスフリーな観光都市の実現
- ・スマート化で持続可能な農林水産業へ
- ・デジタルで支える働きやすい福祉現場

③ 行政のDX

～持続可能な行政運営への変革～

- ・持続可能な行政運営と働き方の実現
- ・DXを担う人材・組織づくり
- ・情報セキュリティ対策の徹底
- ・データ利活用の推進

4. 戦略の指標

本戦略の実効性を評価するために設定した2つの指標の向上を図ります。

1. デジタル化で生活が便利になったと感じる市民の割合
(基準値65.4%)
2. DX・デジタル化で業務効率化が進んでいると感じる職員の割合(基準値70.8%)